

臨床心理学専攻 学位論文の評価基準

【審査体制】

修士論文の審査は、口頭試問および発表会にて判定する。口頭試問は専任教員が行い、主査1名、副査2名で行う。

【評価基準】

- 修士論文は、臨床心理学に関するテーマを設定し、調査、実験、質的研究で行う。事例研究は、1つのケース報告のみでは受稿しない。
- 論文の構成は、問題・目的、方法、結果、考察、文献とする。
 - 問題・目的：レビュー、問題、研究の意義、研究の目的と仮説を論じる
 - 方法：再現可能性に基づいて記述する、詳細かつ丁寧な記載をする
 - 結果：統計解析を行うこと、事実を示す、図や表など利用する
 - 考察：文献的考察を必ず行うこと。
 - 文献：ABC順に載せる、全ての引用文献を載せること
- 研究倫理を遵守していること。